



ほけんだより 特別号

思春期教室 ～性と生を見つめてみよう～

令和2年12月17日

佐渡市立両津中学校

保健室

11月27日、12月4日に元子ども若者相談センターの相談員で助産師のご経験もある本間加世美様をお招きして、思春期教室（性に関する指導）を行いました。

命の大切さや思春期の性、LGBTQ、性のトラブルについてお話をしていただきました。以下、概要と生徒の感想です。詳しくはお子さんに聞いてみてください。



【1年生 命の誕生について】

命の始まりの大きさは0.1mmです。そこから10ヶ月間、お腹の中で大切に育てられてきました。分かりやすい資料を使って、胎内での赤ちゃんの様子や、骨盤と赤ちゃんの人形を使って、どのように生まれてくるのかを説明してくださいました。赤ちゃんは、頭部の骨を重ね、体を回転させながら生まれてきます。さい帯（へその緒）の長さは約50cmで、その長さは生まれてからお母さんがすぐに抱くのちょうどいい長さです。命は重さでは計れない、値段はない、見えないものです。生まれてくる命は、いじめを受けるための命ではない、幸せになってほしい、とお話をしてくださいました。



1年生の感想

- 命はなくなったら二度と戻らないこと、自分が愛されて育ったことが分かりました。これからも命を大事にしていきたいと思いました。
- 自分が自分のことをどう思っているか、自分のことを産んでくれた親、家族にとっては、かけがえのない存在だし、自分にとっても友達は大抵ということ分かりました。
- どれだけ命が大切かを学びました。なので、せっかくもらった命を粗末に扱わないように頑張っていきたいと思いました。
- 人はみんなに愛される（抱っこ）ことがないと赤ちゃんの時に死んでしまうことが分かりました。私にも赤ちゃんができればいっぱい可愛がりたいなと思いました。
- 嘘でも人に「死ね」など言っちゃいけないと改めて分かりました。生まれるのには、たくさん自分でがんばってきたということが分かった。自分の命そして友達を大切に生きていく！



【2年生 思春期の性、LGBTQ、性暴力について】



現在日本では13人に1人がLGBT（同性愛、両性愛、性同一性障害）であると言われています。今はそこにIやS、+などがつき、LGBTのどれにも当てはまらない・どれに当てはまるのか分からない人もいることを学習しました。どんな人でも認め合うことを大切にしてほしいです。性暴力については、パートナーに自分以外の異性と連絡を制限する、暴力を振るう等はいけないことを確認しました。自分も相手も大切に、自分が嫌だと思ったらNOと言おう！ということ学びました。

2年生の感想

- 「性」とは命をつなぐ大切な行動であることが分かりました。性に関わることは自分だけでなく、相手の責任も背負うことになるからとても大切だと思いました。LGBT(Q)などいろいろな人が世界にいることも分かりました。
- 感情のコントロールは大事だと思いました。この授業を受けて命は大切だと改めて感じました。
- 性暴力にはいろいろあってびっくりしました。思春期の男女には心とからだのちがいがたくさんあることを知りました。ちゃんと自分の心やからだを大切にしたいと思ったし、自分の行動にも責任がとれるようになりたいと思いました。

【3年生 性のトラブルについて】

予期せぬ妊娠や性感染症、性暴力やストーカー被害などの“性のトラブル”について学びました。卵巣における原始卵胞数（年齢によって妊娠できる確率は減少していきます。）やH29年新潟県出生数など具体的な数値も示されました。きちんとした年齢できちんといのちをつなぐ行為を、という言葉に真剣に耳を傾けていました。



3年生の感想

- エイズや性感染症について分かりました。責任ある行動をすることが大切だと思ったし、自分だけではなく、周りの人の体も心も大切にすることが大事だということが分かってよかったです。自分の命も他の人の命も大切にしようと思いました。
- 新潟県では14歳、15歳で私と同じ中学生が妊娠をしていて、他人事ではないなと思いました。正しい知識で人と付き合いしていきたいです。45cm（自分と相手との距離）を意識して、その場の雰囲気や感情に流されることなく、自分の意見をきちんと言える人になりたいです。
- トラブルにあう前に話したり、相談したりできる相手がいるのは、すごく大切だと分かりました。これからも自分の命を大切にしたいです。